

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2004-502820(P2004-502820A)

【公表日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-004

【出願番号】特願2002-507944(P2002-507944)

【国際特許分類】

C 09 D 193/04 (2006.01)

C 09 D 5/16 (2006.01)

C 09 D 129/10 (2006.01)

C 09 D 133/08 (2006.01)

C 09 D 157/06 (2006.01)

C 09 D 201/00 (2006.01)

C 09 D 201/02 (2006.01)

【F I】

C 09 D 193/04

C 09 D 5/16

C 09 D 129/10

C 09 D 133/08

C 09 D 157/06

C 09 D 201/00

C 09 D 201/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

【請求項1】 ロジン物質及び補助的なフィルム形成性樹脂を含むバインダーを有し、かつ殺海洋生物性を有する成分を含む防汚ペイントにおいて、該バインダーが20:80~95:5重量%比のロジン物質と補助的なフィルム形成性樹脂との混合物を含み、かつ該補助的なフィルム形成性樹脂が、

その酸基が加水分解、解離又は海水種と交換し得る基により保護されてポリマーを海水溶解性にされているところの酸官能性フィルム形成性ポリマー(A)(ここで、該保護基は、ポリマーの第四級アンモニウム塩を形成するところの第四級アンモニウム基及びポリマーの第四級ホスホニウム塩を形成するところの第四級ホスホニウム基から選ばれる)の20~100重量%、及び

非加水分解性かつ水不溶性のフィルム形成性ポリマー(B)の80~0重量%を含むことを特徴とする防汚ペイント。